

議 事 録

会 議 名 称	令和２年度 第２回 固定資産評価審査委員会
日時及び場所	令和３年３月２６日（金） １３：５０ ～ １４：３０
出 席 者	固定資産評価審査委員会：委員３名（委員長、委員２名）事務局１名 税務課長 評価補助員１名（税務課員）
内 容	定例会（後期）
１．開会 ２．あいさつ 【委員長】 今年度はコロナ禍により研修会に参加できず、今回を含め２回の定例会のみの活動に限られました。限られた機会ではありましたが、本日は充実した内容となりますよう評価状況等の説明をお願いします。 【税務課長】 令和３年度は評価替え年度であります。地価が上昇した土地についてはコロナ禍による特例で税額が据え置かれます。宅地造成や家屋の新築、償却資産の状況について担当から詳しく説明しますが、ご意見いただきますようお願いいたします。 ３．議事 （１）令和２年度固定資産税の申し出等による修正状況について 【評価補助員】 第２期までの修正については、前回の定例会にて説明していますので省略させていただきます。第３期以後について説明します。 第３期にて生活保護減免を１件、課税修正を７件、内１件は所在不明により登記閉鎖された土地の登録誤りで、平成３０年度にさかのぼり修正しました。 以上です。 （２）令和３年度固定資産評価状況（見込）について 【評価補助員】 土地について令和２年度と令和３年度見込の地目別筆数、評価地積、評価額、平均価格の増減内容を説明。田畑は宅地等への農地転用、耕作放棄による原野や山林への地目変更により毎年減少傾向です。宅地は住宅用地の造成により地積は増ですが、令和３年度は評価替え年度であり、地価下落のため評価額は前年比９６．１９％の見込。また、雑種地も宅地と同様に地積は微増ですが、評価額は対前年比９５．９４％です。全体として評価額は２年度に対し、９６．３４％の見込です。 【評価補助員】 家屋について令和２年度と令和３年度見込の木造、非木造別床面積、評価額の増減内容を説明。滅失は木造７８棟、非木造６棟、新築は木造５４棟、非木造７棟、増築は木造２棟により床面積は対前年比、木造１００．２７％、非木造１００．３％でしたが、評価替えに伴う在来家屋の減価により評価額は木造９９．５２％、非木造９６．６５％の見込です。 償却資産について令和２年度と令和３年度見込の増減内容を説明。町長決定分の課税標準額は太陽光発電設備や船舶の増により対前年比１１０．０３％の見込。ＪＲ等の他市町村にまたがる物件は総務大臣配分で、まだ決定通知がありませんので前年と同額としますと、全体として対前年比１０６．３４％の見込みです （３）その他 【評価補助員】 地価公示価格について説明。 先日公表されました地価公示価格ですが、町内にある３地点、藤田医院近くの地点が０．９％、大谷郵便局近くの地点が１．９％、役場前の地点が１．２％と全て下落でした。 ４．その他 【事務局】 令和３年度の研修会への参加ですが、令和３年８月４日に京都市内で開催予定の固定資産評価審査委員会運営研修会を予定しております。ただし、コロナ禍の影響を勘案して、時期が近づきましたら、参加するか否か伺います。 ５．閉会	